

Right-hand

人材育成を通して、企業、経営者様の右腕となり、人と人の結びつきを強化致します。

講師 木下 美紀



24歳の時にオーストラリアへ渡り、ビジネスビザを取得。

3年間ジュエリーの販売を行い、2008年、帰国。

その後、銀座の高級時計店で9年間の接客、販売を行う。富裕層、また経営者の方への接客を行う中で、マナーはもちろん、経営者の方のお悩みや求めていることを学ぶ。その後、2018年に株式会社オンデーズに入社。

研修講師として、年間2,000名のスタッフへ研修を行うと同時に、法人営業やMC,公式YouTuberなど、社内で唯一無二のポジションを獲得。その傍、企業様への研修やイベントMCを担当。

その数、トータル10,000名。2023年11月に退職。

【人材育成を通して、経営者様の右腕となり人と人との結びつきができるチーム作りをお手伝い致します。】をCREDOに掲げ、独立。



CREDO

全ての研修において、人と人の結びつきを強化します

理念浸透、ハラスメント、新入社員向け、どの研修も企業にとって必要な研修ですが、その前に、もっと大切なことがあると、私は考えています。
それは。

共に働いている「人のつながり」です。

縦（上司、部下）横（部署内、部署間）の関係性が整っていなければ
本当の意味で浸透はできない。と私は考えています。

私が行う全ての研修においてチームビルディングを取り入れ、各メンバーの
成長と共に「人と人の結びつき」ができるチーム作りをお手伝い致します。

理念浸透研修

会社の理念（存在理由、目的）を浸透させ、同じゴールを目指す組織作り

- ✔ 会社は成長してきたが、経営者、管理職とスタッフとの距離感が出てきた
- ✔ 部署間でのスタッフのチームワークを強化したい
- ✔ 会社の理念（ミッション、ビジョン、バリュー）が浸透していない
- ✔ 古い組織体質を一掃したい
- ✔ 闇雲に売上を作るのではなく、スタッフ自らが成長したいと感じ、自走できる組織にしたい。
- ✔ 研修は必要だと思うが、実施するとなるとスタッフが負担を感じやすい



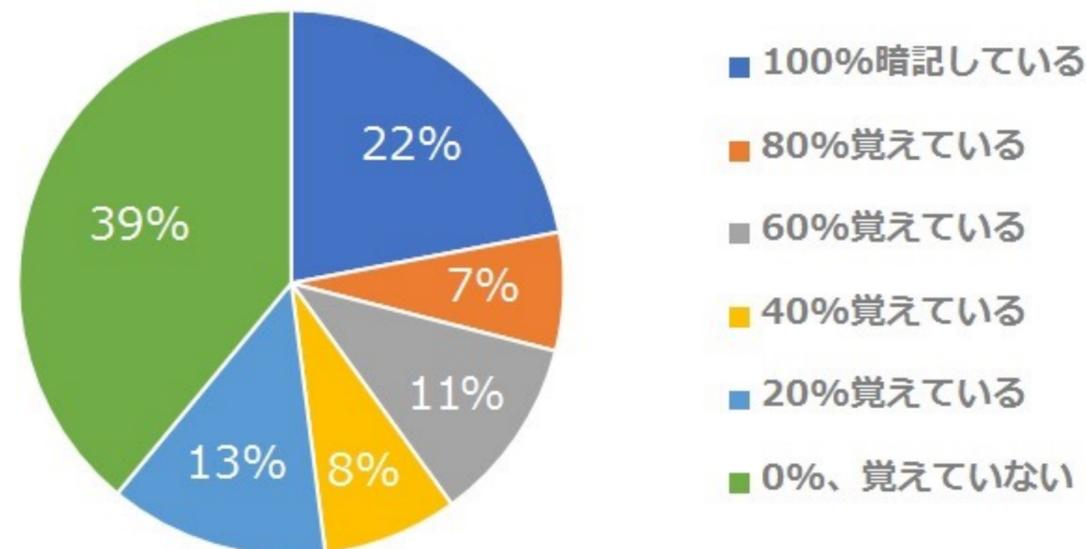
企業が目指すゴール（カラー）がなぜ大切なのか？

それは、理念の浸透がないということは、共に働くスタッフが
何の為に自分は、この仕事をしていて、そして、どこに向かっているのかが分からず、
目的地のないまま、そして個々がバラバラに旅をしているのと同じこと。

理念の共有はなぜ大切なのか

「理念」とは、会社、組織が存在する「目的」「存在理由」と言い切っても過言ではありません。

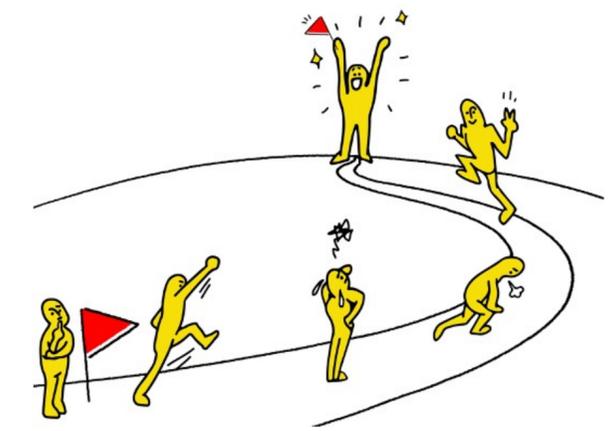
企業理念、どこまで覚えていますか？



- ・あまり覚えていないので、だいたい、このくらいかな、と思います。
- ・企業理念が細かく多岐にわたり、暗記できる長さではなかったからです。
- ・会社の理念に共感できないので暗記しておらず、見ないと言うことができません。
- ・基本的な理念は言えますが、加えてこれこれをこうします、といった行動規範までは言えないので。

カーナビに目的地をセットするように、理念（ゴール）が浸透されれば、スタッフ自らが

- なぜ自分はこの会社に必要とされているのか
- 自分は何の為に、この仕事をしているのか



という事が**明確に理解できる**ようになり、その結果、自発的な行動が生まれるのです。



ゴール（カラー）がしっかりと確立されることで非自立型人材（別のカラー）が居ずらい環境を**みんなで作る**ことができ、強いては「自立型人材」のスタッフの層のボリュームアップへと成長していく事ができるのです。



理念が浸透し
ている企業は
お客様にも伝
わります。

3つの企業の理念



- 私たちは故郷である地球を救う為にビジネスを営む



- 未来を塗りかえろ！

LAWSON

- 私たちは みんなと暮らすマチ を幸せにします。

共通しているのは、この3つの企業理念を聞けば「ああ、なるほど。」と感じたのではないのでしょうか？

このように、理念が浸透している企業は、社内だけではなくお客様にも伝わり、企組織を理解してもらえ、お客様の「安心」「共感」へと繋がり、しいては顧客からファンへとつながる。



その他、こんなこともお任せください。

★新入社員研修、ハラスメント研修、マナーなど
研修全般。



★公式企業YouTuber（登録者数 37,000人）
としての経験から、撮影企画の作成、商品紹介など裏方、
演者としてのお手伝い



★社内外での司会の経験から、イベントやパーティー
の司会

★2023年、ベストボディジャパン地区予選でグランプリを獲得。
日本大会出場経験から、立ち振る舞い、そして自分の魅せ方を
自ら見つけ、それを強みと自信へと変える「在り方」研修。

